１．件名：原子力エネルギー協議会との面談

２．日時：令和２年１０月２２日（木）１５：３０～１５：５５

３．場所：原子力規制庁８階会議室

４．出席者：

原子力規制庁　原子力規制部原子力規制企画課　森下課長、榎本補佐
技術基盤グループ技術基盤課　佐々木企画調整官

原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）　部長、他３名（テレビ会議システムによる出席）

５．要旨：

〇ATENA から、第１３回（人間工学設計評価ガイド）新規制要件に係る事業者意見の聴取に係る会合（本年１０月２６日開催予定）にて説明予定としている資料案について説明を受けた。

〇サンプスクリーンを通過したデブリが炉心に与える影響に関する米国の対応状況及びこれを踏まえた国内の対応に関して、事業者側の検討状況を聴取するための公開会合開催に向けたスケジュール等について調整を行った。また ATENA から、以前の面談（本年１０月９日）にて原子力規制庁から問い合わせした、サンプスクリーンに関する学会発表資料は情報提供可能であり、公開会合にて説明予定である旨説明があった。

〇ATENA から、第１回１相開放故障事象（OPC）に対する国内原子力発電所等の対応に係る担当者レベルでの技術的意見交換（本年８月５日）後の事業者の取組状況について紹介があった。原子力規制庁から、今後どのような形で進捗確認等を行うこととしているのか、改めて教えてもらいたい旨伝えた。

〇原子力規制庁から、令和３年度の民間規格の技術評価計画に関する事業者意見の聴取に向けた準備のため、事業者側の開催希望時期を教えてもらいたい旨依頼した。

６．配付資料：

・ヒューマンファクターエンジニアリングに関する産業界の取り組みについて

以上